

５．精神障害者が自立して社会に参加できるように、 準備や支援を行う

西垣真澄

①活動の目的

統合失調症の発症率は１００人に１人弱と言われる程、頻度の高いものであるが、精神障害者の雇用については、法定雇用率への参入や、雇用義務化がようやく緒に着いたところです。障害者にとって労働はリハビリに有効であり、社会的なコストを考えた場合も、福祉施設を充実させるよりも労働の場を提供することが重要です。サラリーマンとして企業側の事情も理解する者として、精神障害者の就労支援を行います。

②活動概要

ア) 障害当事者に対する就労支援活動、及び障害者施設職員に対する障害者援助支援

下表の通り毎月１回、定例ワークショップを開催しました。ワークショップの内容としては、履歴書の書き方や面接の受け方、自尊感情を高めるためのワークは既に実施済みでしたので、日常の体調管理の方法や、就労意欲を高めるためのワーク、及び現状の雇用環境の情報提供などを実施しました。

この他に、就労面接への同行、支援機関との面談時の立会などを行いました。

２０１３年度 就労のためのワークショップ

通算	開催日	題目	内容
第六回	2013年11月16日	新しい自分の作り方	セルフトークスキル、ビジネスマナー（接遇編）
第七回	12月14日	新しい自分の作り方 2	道具を使った心の調整、ビジネスマナー（接遇編）
第八回	2014年1月18日	作業所の紹介パネルを作る	プレゼンテーションスキルを磨く
第九回	2月8日	雪のため中止	
第十回	3月8日	新しい自分の作り方 3	身体を使った心の調整、ビジネスマナー（接遇編）、ビジネス電話対応マナー（敬語）

2014年度 就労のためのワークショップ

通算	開催日	題目	内容
第一回	2014年4月19日	職業上の目標設定	自分の希望する生活を実現するために、何をすべきかを整理して、職業プロフィールを作成する
第二回	5月17日	障害者の権利に関する条約 障害者差別解消法の概要	障害者の権利に関する条約、及び障害者差別解消法の概要について理解する
第三回	6月21日	なりわいを作る	自分の価値基準を知り、生活の糧を得る方法（なりわい）を考える
第四回	7月10日	なりわいを作る②	幸せを感じる、お金の使い方について考える
第五回	9月20日	働くために必要な7つのこと 企業があなたに求めること	働くために必要な、7つの要素について考える



2014年1月18日のワークショップの様子

イ) ピアサポート・グループ活動

就労のためのワークショップの開催日に合わせて、会場を変えてピアサポート・グループ活動を実施しました。内実は、ピアサポートグループというより、ご家族の相談会のようになってしまいましたが、ご家族支援も大切なことだと考えています。

インフォメーション



ピアサポートグループ ワンダウン
心に困難をかかえる人が仲間同士で
支え合う「言いっぱなし、聞きっぱなし」のミーティングです。お気軽
にご参加ください。
日時：9月20日(土) 13:30～15:00
場所：市民活動支援センター活動室
☎ peersuponedown@yahoo.co.jp(西垣)

ウ) レク活動 (五行歌)

最後に、レク活動の報告をします。「五行歌」という自分の気持ちを、5行の詩で表現する非常に簡単なものなのですが、参加したメンバーの皆さんにとっても好評で、専門誌にもその時の様子が紹介されました。自分一人で困難を抱え込んでしまいそうな時に、気持ちを整理したり、外に表現して感情を解放する方法を身につけることは、ととても大切なことだと思いました。



七月十二日(土)
精神保健福祉士の西垣真澄さんから「五行歌」の講座を。この依頼を受け、千葉県白井市のNPO法人「ほれほれ・ちほ 第二ぽけっと」にお伺いしました。西垣さんは雑誌「こころの元氣」に載っている吉野比紗子さんの作品で五行歌を知ったそうです。
生活訓練の場として今年開所したという施設は、民家風の二階建て。玄関をはいると、通所の方やスタッフの方に明るく迎えられ、一気に心がほぐれていきました。通された吹きぬけのリビングは、すがすがしい木の香がただよみ、まるで森林浴のような安らぎや開き、リビングのとなりの和室に十名ほどの方が集まってくださり、座卓をかこんでいよいよ講座のはじまりです。
五行歌について簡単に話をしたあと、さっそく歌を書いていただきました。二十分ほどの創作タイムのあと、休憩をはさみ模擬歌会。

七月十二日(土)
精神保健福祉士の西垣真澄さんから「五行歌」の講座を。この依頼を受け、千葉県白井市のNPO法人「ほれほれ・ちほ 第二ぽけっと」にお伺いしました。西垣さんは雑誌「こころの元氣」に載っている吉野比紗子さんの作品で五行歌を知ったそうです。
生活訓練の場として今年開所したという施設は、民家風の二階建て。玄関をはいると、通所の方やスタッフの方に明るく迎えられ、一気に心がほぐれていきました。通された吹きぬけのリビングは、すがすがしい木の香がただよみ、まるで森林浴のような安らぎや開き、リビングのとなりの和室に十名ほどの方が集まってくださり、座卓をかこんでいよいよ講座のはじまりです。
五行歌について簡単に話をしたあと、さっそく歌を書いていただきました。二十分ほどの創作タイムのあと、休憩をはさみ模擬歌会。

詩より書きやすい
詩を書いていてという上野和輝さんは、五行でおさまるので書きやすいと、早々と十首ほど書きあげました。
感じたことで得たこと 上野和輝
ことごとくダメ出されたこと
そのことをはめてくれた人
みんながいてなっている
この世は可能性にみちている
戦争と楽器のえんそう
どっちがいい
やっぱり僕は楽器がいい

「ほれほれ・ちほ 第二ぽけっと」五行歌講座 自分を見つめる 三好叙子

③決算報告書

単位：円

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
支 出	ア) 就労支援活動	
	・長机、椅子の購入	30,000
	・テキスト印刷代	20,000
	@10×20頁×10部×10回	
	・ワークショップ事務用品	5,500
	・資料購入費	20,500
	・交通費(ガソリン代) @600×12回	7,200
	イ) ピアサポート・グループ活動	
	・ピアサポーター交通費 @3000円×3回	14,000
	@5000円×1回	
	・ちらし作成費 @10×30枚×10回	3,000
	・茶菓代 @200×10回	2,000
	ウ) レク活動	
	・交通費	3,000
	・ちらし作成費 @10×100枚	1,000
	合 計	106,200

以上